「今夏の節電・省エネルギーの取組結果に関するアンケート」結果

回答町村：５８町村（H23/10/17 実施）

長野県町村会

１．新たな庁内組織・対策組織の「体制」について

新たに設置した ※別表Ａ参照	９町村
その他（設置していない・従前の組織等あり） 〔省エネ推進委員会・地球温暖化 PT・事務改善委員会・課長係長会議　等〕	１４町村

※別表Ａ〔庁内組織・対策組織を作った：9 町村〕

小海町　「節電対策本部」7 月 1 日設置	町長、教育長、課長等 11 名で組織
立科町　「立科町役場庁舎等節電行動計画推進会議」6 月 23 日設置	各課等の長を管理者として各課の係長を推進者として位置付け、各課及び係における節電対策に取り組む体制を組織した。
富士見町　「富士見町省ｴﾈﾙｷﾞｰ・新ｴﾈﾙｷﾞｰ推進本部」6 月 10 日設置	原発問題・減 CO2 両方の取り組みについて具体的行動を喚起する。 本部長：町長、副本部長：副町長・教育長、本部員：課長 11 名、 幹事会：関係係長 14 名（幹事長⇒総務課長）
原村　「新エネルギー省エネルギー推進本部」5 月 12 日設置	中電浜岡原発全面停止を受けて立ち上げ、継続中。 （本部長：村長、副本部長：副村長・教育長、本部員：各課長等 10 人　　計 13 人）
箕輪町　「箕輪町役場節電・エコ対策委員会」6 月 6 日設置	公共施設全体の節電・エコ対策等を検討・推進するために設置。 委員は町長が任命した町職員６名で構成されている。 役場の取り組みから地域住民への節電協力への啓発ができればと考えている。 本町が力を入れているエコアクション 21 の一環でもある。
松川町　「松川町役場節電対策委員会」5 月 31 日設置	各課・局の部署から施設のｴｺﾘｰﾀﾞｰを選出。 ｴｺﾘｰﾀﾞｰ会にて、取組事項等提案、職員へ周知徹底を行う。
木曽町　「省エネ推進責任者会議」6 月 6 日設置	町長部局庁内 18 部署及び指定管理 20 施設、教育委員会部局 10 施設の省エネ担当者で構成する会議を組織し、省エネ・節電対策講習会を開催した。
筑北村　「筑北村節電推進員」7 月 1 日設置	庁舎の節電の取り組み状況のパトロール。
飯綱町　「地球温暖化対策庁内横断組織」4 月 1 日設置	各課、施設ごとのＣＯ2 排出量の集計、報告等。

２．町村としての取り組みについて

（１）節電・省エネ目標の設定

数値目標を設定した ※別表Ｂ参照	１１町村	前年比　15～20%ｶｯﾄ
数値目標を設定しなかった	４７町村	

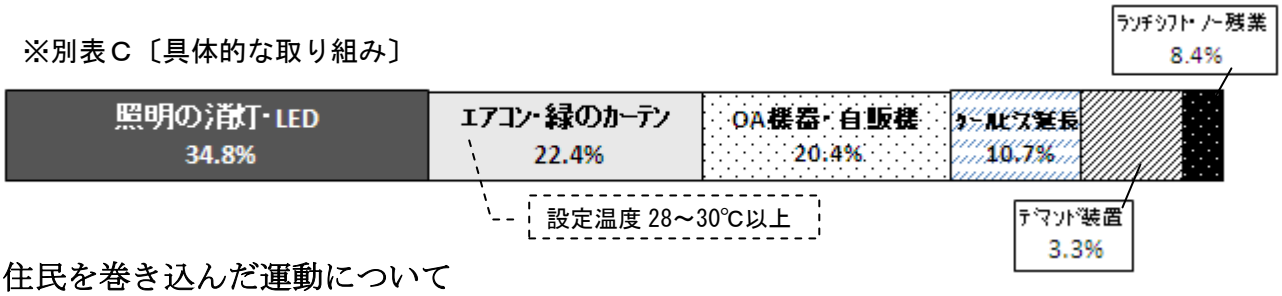
※別表Ｂ〔数値目標を設定した：11 町村〕

小海町	南相木村	立科町	下諏訪町	富士見町	原　村	箕輪町	飯島町	筑北村	小布施町	信濃町
20%	15%	15%	契　約 電力量 105kw	15%	12.8% の維持	15%	15%	ﾋﾟｰｸ ｶｯﾄ 5%	目　標 電力量 120kwh	15%

（２）役場庁舎等の電力使用量（6～9 月まで）の削減率

対象月	６月	７月	８月	９月	計
平均削減率	▲１．２％	▲６．３％	▲９．７％	▲８．７％	▲８．２％

※別表Ｃ〔具体的な取り組み〕



３．住民を巻き込んだ運動について

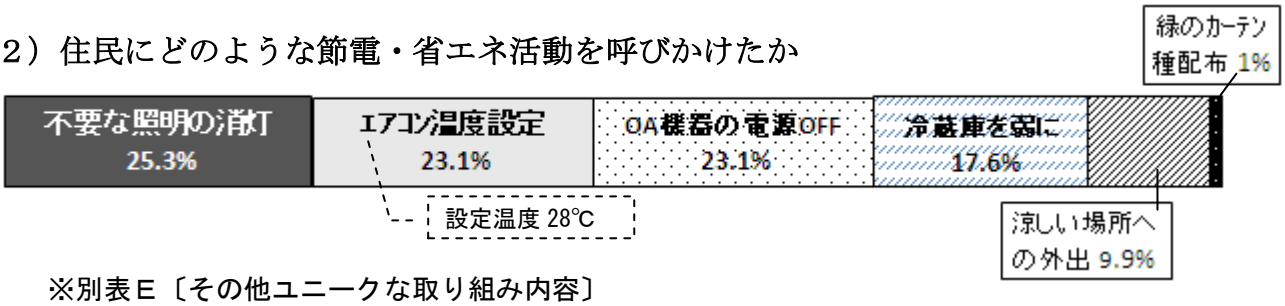
（１）住民を巻き込んだ運動としての取組

住民と取り組んだ ※別表Ｄ参照	２７町村
住民と取り組まなかった	３１町村

※別表Ｄ〔主な取り組み内容：２７町村〕

○広報・有線放送・CATV・ホームページなどによる、節電・省エネの呼びかけ
　（各家庭で取り組める節電対策・省エネの具体例を掲載し普及啓発を図った）
○「町民総ぐるみの節電・省エネ運動」を設置し、最大電力量前年比▲5%に設定【立科町】
○住宅用ＬＥＤ照明の補助、ペレットストーブの購入補助【下諏訪町】
○環境大使による環境学習・環境講演会の実施【松川町】　　など

（２）住民にどのような節電・省エネ活動を呼びかけたか



※別表Ｅ〔その他ユニークな取り組み内容〕

○家庭のエネルギー使用量を集計する「かんきょう家計簿」の作成をすすめた【軽井沢町】
○１時間の一斉ライトダウン「ﾗｲﾄﾀﾞｳﾝ in たかもり（6 月 4 日実施）」【高森町】
○家庭での打ち水をすすめた【下條村】　　など

（３）住民を巻き込んだ運動に対する住民からの声及び反応

〇住民カウンターにおいて「もう少し暗くても構わないから蛍光管の間引きをしたらどうか」という声があり、早速、間引きを実行した【箕輪町】
〇節電・省エネに関心が高く、学習会・講習会への参加者が多かった。【高森町】
緑のカーテンを設置している家も多い。
『ライトダウン』参加店より、ライトダウンを実施しロウソクの灯りで営業していたら、お客様から「素敵！」と言っていただけた。１つの電球の明るさを改めて感じた。
〇いくら節電対策とは言え、高齢者世帯においてエアコンの控え過ぎによる熱中症が発症した場合はどう対応するのかとの声あり。【木曽町】
〇緑のカーテンの苗の分譲希望の声が多かった。【筑北村】　　など

４．「さわやか信州省エネ大作戦　ピークカットチャレンジ」のＰＲについて

（１）住民向けＰＲを行った	２７町村	〇広報・有線放送・CATV・ホームページなどによる呼びかけ
（２）ﾋﾟｰｸｶｯﾄ実施日に住民と一緒にｲﾍﾞﾝﾄを行った	２町村	〇環境大使によるｴｺｺﾝｻｰﾄ（7/2・16）【松川町】 〇ｸﾞﾗﾝﾄﾞ・体育館を夜間使用しない【山形村】
（３）町村職員へＰＲを行った	２４町村	〇庁内 LAN・ﾎﾟｽﾀｰの掲示、朝礼等において省ｴﾈを啓発、電気予報の案内　など
（４）ﾋﾟｰｸｶｯﾄ実施日に庁舎で特に行った節電の取組	１１町村	〇節電の徹底（エアコン使用を控えた・印刷機の使用台数削減　など） 〇残業者ｾﾞﾛのためｻｰﾊﾞｰのｱｸｾｽを 18 時以降停止

５．教育委員会や小中学校等での節電の取組

庁舎と同じ取組のほか・・・
〇図書館の夜間の開館中止【中川村】
〇使用電力量を掲示し、意識向上を図る【坂城町】
〇晴れた日の体育館使用時は消灯【下條村】
〇小中学校の全教室へ扇風機を設置【小布施町】　　など

６．町村内において先進的な節電等の取り組み事例

〇ＬＮＧ利用による自家発電プラントの稼働。【富士見町】
〇工業系の企業においては、土日の休日をずらす事で、電力使用を分散させようという取り組みを行ったところもある。【箕輪町】　　など

７．今夏の節電対策の課題

住民からエレベータの停止や照明の消灯などに対し住民からの苦情があった	１町村
抜本的な節電対策を企画しようとしたが、経費の面から実施が困難だ	１１町村
ｻﾏｰﾀｲﾑやﾗﾝﾁｼﾌﾄなど、勤務形態が大きく変わり、職員に過度の負担を強いた	―町村
企業の操業に制約が課され、地域経済に大きな影響があった	２町村

※その他課題

〇若干ではあるが時間外勤務の抑制に効果がみられた。【富士見町】
〇昼食休憩時間の消灯について、一部住民から苦情が寄せられた。【南牧村】
〇厳しい電力供給状況下であり、節電対策についてあたり前に受入れられた。
節電対策をすることにより、電力料金の軽減等のメリットや、環境保全につながるので、理解いただけた。【立科町】
〇役場庁舎では、節電効果が高いことからエアコンの運転日数をできるだけ少なくしたが、職員の体調（職場環境）にも配慮する必要がある。
空調設備や照明器具を節電型に更新したいが、経費の面から実施は難しい。【野沢温泉村】

８．今後の節電の取組等について

（１）節電・省エネ対策に関して、担当部署としての意見

〇太陽光発電システム設置のさらなる促進（10/25 現在、村の一般家庭での設置率＝92/339 世帯＝27.1%）【北相木村】
〇担当部署としてではなく、節電・省エネ対策は、行政経費の縮減の観点からも町組織全体で取り組まなければならない。
省エネ法に基づく特定事業者の指定を国から受けているため、各部署や指定管理者含め、エネルギー消費原単位の年１%以上の低減のため、省エネ施策の実施に努めたいが、町予算面で中々実施に向けた中長期計画が立てられないのが課題となっている。【木曽町】
〇冬期間で長時間使用する暖房器具での節電が課題。【山形村】
〇日常化が重要。部署により意識の程度差がある。過度な節電は電力料金値上げを招かないか。薄暗いなかで業務継続する事の健康影響はすぐには現れない。【富士見町】
〇不要な照明の消灯（間引き）、OA 機器の省エネモード設定、緑のカーテン事業等は従来（浜岡原発停止前）から取り組んできているので、引き続き実施していきたい。【白馬村】

（２）冬期の節電対策について

実施の予定 ※別表Ｆ参照	２４町村
その他・検討中	３４町村

※別表Ｆ〔主な取り組み内容：２４町村〕

〇夏期と同様、不要な照明等の消灯やエアコンの温度設定を下げるなど節電に取り組み、薪ストーブやペレットストーブなど、自然エネルギーの利用を促進する。
また、ウォームビズの実施など、個人の防寒対策を呼びかける。
〇住民に対しては、引き続き広報・有線放送などで節電“無理のない範囲で”呼びかける。
など